

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

- (1) 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告および展示物規程、並びに本大会の申し合わせ事項による。
- (2) WA コンチネンタルツアープロンズ該当種目（14 種目）については 2025 年度WA 競技規則を適用する。広告規定についてもWA 規則に準ずる。

## 2 招集について

- (1) 招集所は、西ゲート外側、補助競技場への通路付近に設ける。
- (2) 招集開始・完了時刻は、次の通りとする。

		招 集 開 始	招 集 完 了
トラック	GP 種目	競技開始 20 分前	10 分前完了
	GP 以外	競技開始 30 分前	15 分前完了
フィールド		競技開始 45 分前	30 分前完了

- (3) 招集の方法については、次の通りとする。
  - ①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・商標の点検を受ける。競技場内に持ち込む衣類、物品を含むすべての広告物については『競技会における広告および展示物に関する規程』が厳格に適用される。  
トラック競技のみ腰ナンバー標識（2 枚）を受け取る。
  - ②携帯電話等、【競技規則 TR6.3.2】に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
  - ③代理人による点呼は認めない。
  - ④競技会当日に各種目を棄権する場合は、招集完了時刻 30 分前までに所定の「欠場届」を競技者係に提出すること。
  - ⑤招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとする。
  - ⑥リレー競技のチームの編成は、各ラウンドの第 1 組の招集完了時刻の 1 時間前までに正式に申告すること。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。各チームは申告された競技者がその順番で走らなければならない。【競技規則 TR24.11】

## 3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、主催者が用意したものを、そのままの大きさを胸・背部に固定すること。  
ただし、跳躍種目の競技者については、どちらか一方でよい。【競技規則 TR5.7】
- (2) トラック競技の競技者は、腰ナンバー標識を指示された場所に貼り付けること。【競技規則 TR5.10】

## 4 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通り退場する。なお、上位入賞者については、後記の「10 インタビュー・表彰について」を確認すること。

## 5 競技の抽選、および番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。
- (2) タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録がある場合は、0.001 秒単位の時間を判定して競技者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。【競技規則 TR21.5】
- (3) 抽選が必要な場合は、当該競技者にアナウンス等により連絡し、大会本部において当該競技者あるいは代理人による抽選を行う。尚、アナウンス後 20 分を経過しても当該競技者あるいは代理人が大会本部に来なかったときは、主催者が代行する。
- (4) タイムレースで同タイム者が出た場合、組が違っていてもすべて同順位とする。
- (5) 男女 100m・110mH・100mH において、決勝の棄権で空レーンが出た場合、9 位以降の競技者を補充する。運用は次の通りとする。【競技規則 TR20.2.1】
  - ① 決勝を棄権する競技者でレース後に棄権することが判明している場合は競技終了後 20 分以内に TIC に申し出ること。
  - ② 空きレーンによって次ラウンドに出場できる競技者への連絡は競技終了後 30 分以内に主催者からエントリー時に記載した連絡責任者宛てに電話にて連絡する。上記時刻以降の棄権が出た場合は、原則、補充の対応は行わない。

## 6 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
  - ② 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
  - ③ 【競技規則 TR16.7】に基づき、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。但し、小学生については同じ競技者が 2 回行った場合、失格とする。
  - ④ トラック競技のスタート前に脱衣した衣類は、招集所で配布されるビニール袋に入れ、競技役員が指示した場所に置く。これらの衣類等は、直ちに係員によりフィニッシュライン付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り退場する。
- (2) フィールド競技について
  - ① 競技の計測は、光波距離計測器を使用する。
  - ② 助走路の外側に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを 2 個まで使用することができる。【競技規則 TR25.3】
  - ③ 三段跳の踏切板は、男子は砂場から 13m の地点に、女子は砂場から 11m の地点に設置する。
  - ④ 競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ⑤ 競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。
  - ⑥ 審判員の許可なく、競技者は競技の進行中に競技場所を離れることはできない。【競技規則 TR25.19】
- (3) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできないが、フィールド種目に出場している競技者が、録画再生機器や録画映像は録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば、競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしても良い。【競技規則 TR6.4.5】
- (4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (5) 欠場する競技者は、「欠場届」に必要な事項を記入し、競技者係へ提出すること。届けずに欠場した者は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある。

## 7 競技用具について

競技に使用する用具は、すべて主催者が用意したものをを使用すること。なお、投擲用具の持ち込みを希望する場合は、当日競技開始 120 分前から 90 分前までの間に、西ゲート横の用器具庫にて申し出ること。

検査に合格した用具は預かり証発行の上、一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。競技終了後に用器具庫で返却する。

競技場に用意してある投擲用具については、次の通りである。

### 第59回織田幹雄記念国際陸上競技大会 主催者が用意するやり一覧表(2025年4月29日)

器具	種別	製造元	品名	WA認証番号	カラー	数量	合計
やり	男子(800g)	N I S H I	SUPER DR (80m)	I-01-0236	Silver/Yellow, Red Pattern	1	13
		N O R D I C	Airglider Carbon	I-03-0300	Red/White・Spiral	2	
			Champion Steel	I-99-0012	Lilac/White・Spiral	2	
			Super Elite 80	I-99-0020	White	2	
			Super Elite 90	I-99-0019	White	2	
	N E M E T H	Classics 85m	I-09-0429	Violet/Yellow/Orange	3		
	女子(600g)	N I S H I	SUPER DR (70m)	I-01-0235	Silver/Yellow, Red Pattern	2	10
		N O R D I C	Diana 80	I-99-0018	Yellow/Blue・Spiral	2	
			Diana Steal flex 6.2	I-99-0018	Purple/White・Spiral	3	
		N E M E T H	Classics 75m	I-99-0110	Violet/Yellow/Orange	2	

## 8 競技用靴について

(1) スパイクの数は 11 本以内で、長さ 9mm を超えてはならない。また、やり投の場合は 12mm を超えてはならない。なお、スパイクの先端の直径は 4mm 以内とする。【競技規則 TR5.2】

(2) 競技用靴底における最大の厚さは、20mm 以内でなければならない。【競技規則 TR5.2】

**シューズコントロール：**WA 規則 TR5 および競技用靴に関する規程を遵守すること。

シューズは <https://certcheck.worldathletics.org> に掲載されており、当該種目での使用が承認されているモデルを着用しなければならない。カスタムシューズやプロトタイプシューズは、ワールドアスレティックスが事前に使用を認めた競技者しか着用できない。競技後に使用したシューズがチェック対象となる場合がある。使用が認められていないシューズの着用が確認された場合は失格の対象となる。世界記録達成時や、その他、審判長が必要と判断した場合は当該シューズを回収し、詳細検査を実施するため検査機関に送付する。詳細検査はシューズの切断等される場合がある。競技者は競技に使用したシューズのモデル名を把握しておくこと。

## 9 結果発表と抗議について

(1) 各種目の結果発表は、大型スクリーンおよびアナウンスで行う。

(2) 発表された結果に対する抗議および競技中の抗議の運用は次の通りとする。【競技規則 TR8】

①定められた時間内(次のラウンドが行われる場合には、アナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内)に、競技者自身または代理人が、T I C を通じて、審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金 1 万円) を添え、担当総務員を通じて、 Jury に文書で申し出る。

②競技中の抗議については【競技規則 TR8】に基づき、審判長が判断する。

## 10 インタビュー・表彰について（グランプリ種目のみ）

### （1）インタビュー

記者席からの希望選手のみインタビューを受ける。

### （2）表彰

①グランプリ優勝者には副賞が贈呈される。

②男女 100m・110mH・100mH については、A 決勝進出者のみ対象とする。

## 11 ドーピングコントロールについて

大会要項記載の内容を確認すること。

## 12 一般注意事項

- （1）競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および、競技会における広告および展示物規程、並びに本大会申し合せ事項による。WACT 該当種目（14 種目）については 2025 年度 WA 競技規則を適用する。広告規程でも WA 規則に準ずる。
- （2）競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。なお、医務室は中央ホール左側に設置されている。
- （3）更衣室はメインスタンド下に設けている。更衣室は更衣のみに使用し、更衣後の荷物は各自で管理すること。
- （4）大会期間中の貴重品の保管は各自で行うこと。盗難にあってもその責任は負わない。
- （5）各チームの横断幕は、サイドスタンド A ゾーン中段の手すりに設置する。スタンドを含む競技場内での応援用のぼり・旗等の固定は禁止する。
- （6）競技者に対する助力については、【競技規則 TR6】を適用する。
- （7）本大会は、国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 大会」広島県代表選手選考会を兼ねる。

### 13 練習会場使用について

- (1) 4月28日(月) 13:00~17:00は、本競技場・補助競技場を練習会場として開放する。
- (2) 練習にあたっては、競技役員の指示に従うこと。
- (3) 練習会場の入退場時は、必ずADカードを明示すること。
- (4) 練習会場におけるチューブやメディシンボール、ミニハードル、ラダー等の用具を使用する練習は禁止とする。ただし、本競技場南側にある多目的広場において、メディシンボールを使って壁当てをすることは可能とする。
- (5) 本競技場での練習について

練習会場へ入る前に受付を済ませ、ADカードを係員に明示して入場してください。

受付時間 4月28日(月) 12:00~ 4月29日(祝火) 7:00~

受付場所 ホットスタッフフィールド スタジアム正面(受付テント)

#### 1. 使用時間帯

	本競技場(メイン)		補助競技場(サブ)	
	トラック	フィールド	トラック	フィールド
4月28日(月)	13:00 ~ 17:00		13:00 ~ 17:00	
	・県外選手(GP・全国高校選抜)のみ可 ・三段跳は可 ・やり投(14:00~16:00)投擲練習可 ※やり投練習中はフィールド内の使用不可		・県外選手のみ使用可 ※県内選手であっても、グランプリ、ノングランプリ、全国高校選抜は使用可 ※三段跳、やり投は使用不可	
4月29日(祝火)			7:00 ~ 19:00	
			男女やり投 投擲練習時間 女子 ▶ 10:30 ~ 11:40 男子 ▶ 13:15 ~ 14:25 ※やり投練習中はフィールド内使用不可	

#### 2. トラック使用区分

	本競技場(メイン)		補助競技場(サブ)	
	種目	レーン	種目	レーン
4月28日(月)	800m以上	1・2レーン	全レーン	
	100m	3~6レーン		
	ハードル	ホーム7・8レーン		
4月29日(祝火)	終日使用不可		800m以上	1・2レーン
			100m・リレー	3~6レーン
			ハードル	ホーム7・8レーン

#### 3. 注意事項

1. 関係者以外の立ち入りはご遠慮ください。
2. スポ少・小学生の練習には、必ず指導者が付き添ってください。
3. 逆走は禁止です。(状況によって変更する場合は係員の指示に従ってください)
4. ハードルは時間によってセッティングを調整することがあります。
5. 補助競技場のフィールド内は、やり投げ練習時間帯の使用ができません。

●競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。〔国際〕と〔国内〕で掲出できる数とサイズが異なるので特に、WACT ブロンズ種目出場者は注意すること。事前に確認し準備しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

〈アスリートキット〉

- (1) 競技用の衣類（トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど）、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

〔WACT ブロンズ種目/国際規程〕

- 上衣 下衣〔それぞれ〕 \*スポンサー名/ロゴは上下全く同一のものでなければならない。
- ・製造会社名/ロゴ：1つ/一箇所 40 cm<sup>2</sup>（長さ 10cm）まで
  - ・スポンサー名/ロゴ：2つ/二箇所 それぞれ 40 cm<sup>2</sup>（長さ 10cm）まで  
スポンサー名/ロゴのうち1つ/一箇所を、次のいずれかに変更できる  
〔所属団体名/ロゴ〕または〔学校名/ロゴ〕：一箇所 40 cm<sup>2</sup>（長さ 10cm）まで
- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc）
- ・製造会社名/ロゴ：1つ/一箇所 10 cm<sup>2</sup>（高さあるいは長さ 4cm）まで
  - \*メガネおよびサングラスについては、製造会社名/ロゴを二箇所掲出できる

〔国内規程〕

- 上衣 下衣〔それぞれ〕 \*スポンサー名/ロゴは上下全く同一のものでなければならない。
- ・製造会社名/ロゴ：1つ/一箇所 40 cm<sup>2</sup>（長さ 10cm）まで
  - ・スポンサー名/ロゴ：1つ/一箇所 40 cm<sup>2</sup>（長さ 10cm）まで
  - ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ：〔所属団体名/ロゴ〕  
上衣 前後 各一箇所 \*長さは問わないが、高さは、前：5cm、後ろ：4cm まで  
下衣 一箇所 \*長さは問わないが、高さは 5cm まで  
〔学校名/ロゴ〕 上衣・下衣 大きさの規制なし
- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc）
- ・製造会社名/ロゴ：1つ/一箇所 10 cm<sup>2</sup>（高さあるいは長さ 4cm）まで
  - \*メガネおよびサングラスについては、製造会社名/ロゴを二箇所掲出できる
  - ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ：1つ/一箇所  
〔所属団体名/ロゴ〕 10 cm<sup>2</sup>（高さあるいは長さ 4cm）まで  
〔学校名/ロゴ〕 大きさの規制なし

〈個人の所有物およびアクセサリー〉

〔WACT ブロンズ種目/国際規程〕

- (1) タオル バッグ
- ・製造会社名/ロゴ：1つ/一箇所 40 cm<sup>2</sup>まで（長さ 10cm）
  - ・スポンサー名/ロゴ または 競技者名/競技者個人のハッシュタグ：2つ/二箇所 それぞれ 40 cm<sup>2</sup>まで（長さ 10cm）
- \*バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち1つ/一箇所を、次のいずれかに変更できる  
〔所属団体名/ロゴ〕または〔学校名/ロゴ〕：1つ/一箇所 40 cm<sup>2</sup>（長さ 10cm）まで

〔国内規程〕

- (1) タオル バッグ
- ・製造会社名/ロゴ：1つ/一箇所 40 cm<sup>2</sup>（高さ 5cm）まで
  - ・スポンサー名/ロゴ または 競技者名/競技者個人のハッシュタグ：2つ/二箇所 それぞれ 40 cm<sup>2</sup>（高さ 5cm）まで
- \*バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち1つ/一箇所を、次のいずれかに変更できる  
〔所属団体名/ロゴ〕 長さは問わないが高さは 5cm まで  
〔学校名/ロゴ〕 大きさの規制なし

〔WACT ブロンズ種目/国際規程〕 〔国内規程〕 共通

- (2) 飲料ボトル
- ・ドリンクの提供者、製造会社、および（または）アスリートスポンサー名/ロゴ：2つ それぞれ 40 cm<sup>2</sup>（高さ 5cm）まで
  - \*ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

※補助競技場におけるフィールド種目の練習は、不可とする。